

各地の自然災害で被災された方々に、心からお見舞い申し上げます。神様の慰めと助けがありますように、お祈りしております。

キリストを現代に伝える人たち ～八木重吉(やぎ じゅうきち)～

「人と人のあいだを 美しくみよう
わたしと人とのあいだをうつくしくみよう
疲れてはならない」

「きれいな気持ちでいよう
花のような気持ちでいよう
報いをもとめまい いちばんうつくしくいよう」

どちらも、八木重吉(1898-1927)が残した詩です。彼は、どのような人物だったのでしょうか。

八木重吉は、現在の東京都町田市で代々農業を営む資産家の次男として生まれました。学生時代は優秀な成績を納め、卒業後は神戸や千葉の師範学校で英語教員を務めました。学生の頃、教会に通い始め、やがて洗礼を受けてクリスチャンとなりました。そして、結婚した頃から短歌や詩を書き始め、1925年(大正14年)には初の詩集「秋の瞳」を刊行しました。ところがその翌年、これから詩人としての道を歩み出そうとしていた矢先の彼を、結核が襲います。療養生活の中で、第2詩集「貧しき信徒」を手がけますが、完成を待たずして、翌年、29歳という若さで死去しました。死ぬ間際まで書き続けた彼の詩は、わずか5年程の

短い間に3000を超え、今もなお、人々の心に静かに語りかけています。

「空のように きれいになれるものなら
はなのように しずかになれるものなら
価なきものとしてこれも捨てよう
あれも捨てよう
キリストを信じて救われるのだとおもい
ほかのことは何もかも忘れてしまおう」

これも重吉の有名な詩です。この詩にあるように、空や花のように静かに、それでいて豊かに溢れるキリストの平安が、彼の心には満ちていたのです。彼は、詩人としての華々しい業績もなく、若くして志なかばで世を去りました。けれども、人生の価値は、どのような業績を残したかや、長寿を全うしたかではなく、どのような心で生きたかではないかと語りかけています。

重吉が亡くなって、来年で100年が経ちます。彼が紡いだ詩は、現代を生きる私たちに何を響かせるのでしょうか。



教会のひとこま 花の日訪問

6月第二日曜日は、花の日でした。日頃の感謝の気持ちを込めて、毎年、子どもたちと一緒に、近くの交番や消防署へお花を届けています。子どもたちが笑顔でお花をお渡しすると、とても喜んで受け取ってくださいました。



集会のご案内

礼 拝 日曜日 午前10:30～11:40

週の初めの日曜日に、神様に礼拝をささげます。讃美歌を歌い、祈りをささげ、聖書から語られるメッセージに耳を傾けます。

子どもチャペル 日曜日 午後1:00～2:00

子どもたちのために聖書のお話が語られます。楽器を使って楽しく賛美します。幼児から中高生が対象です。親子連れでもどうぞ。

お知らせ

デイサービス オリーブの実は、7月末をもって終了となります。長らくのご支援を、ありがとうございました。

宝塚栄光教会

牧師：岩間 洋

〒665-0021 宝塚市中州1-15-9 TEL:0797-73-6076

E-mail: info@takara-eikou.com <https://www.takara-eikou.com>



教会HP

礼拝動画

希望のダイヤル

礼拝 毎週日曜日
10:30～11:40

希望のダイヤル(聖書のお話)
0797-77-3746
毎週更新。24時間つながります。
ホームページからも利用できます。

わたしたちは世界平和統一家庭連合(旧・統一協会)、ものみの塔(エホバの証人)、モルモン教ではなく正統的なプロテスタントのキリスト教会です。お困りの方はご相談ください。



十字架に現された神の愛

イエス・キリストが十字架につけられて死なれたことは、多くの人が知っています。イエス様は、十字架につけられる前の夜、ゲッセマネの園でユダヤ人の指導者たちに捕らえられ、初めから死刑に処することを目的とした、徹夜の裁判を受けられました。

翌日、イエス様のその疲れきった体に鞭が当てられました。そして、皮膚が破れ、肉が裂けてズタズタになった背中に、ささくれだった荒削りの十字架が背負わされ、ゴルゴタと呼ばれる処刑場まで歩かされました。途中でイエス様は、衰弱と傷の痛みで何度も倒れたと言われています。

そして、ついにイエス様は十字架につけられました。左右に強盗たちも一緒に十字架につけられました。イエス様は、犯罪人の一人に数えられて、十字架刑に処せられたのです。

イエス様は、何の罪も犯さないお方だったのに、なぜ十字架の苦しみを受けられたのでしょうか。それは、私たちの身代わりだったのです。

私たちは、天地を創造された真の神様を知らず、神抜きの自分勝手な生き方を続けてきました。神様から遠く離れた存在だったのです。これが聖書の言う罪です。その罪のために、私たちは滅びなければなりませんでした。

しかし、愛なる神様は私たちが滅びるのを惜しまれ、イエス様をこの世に送り、十字架につけてくださいました。イエス様は当時のユダヤ人指導者層の妬みを買って十字架刑に処せられたのですが、実は、罪びとの私たちに罪から救うための、神様のご計画だったのです。神様は、ご自分のひとり子イエス様を十字架につけるほど私たちを愛してくださいました。

聖書の言葉。「しかし、私たちがまだ罪人であったとき、キリストが私たちのために死なれたことによって、神は私たちに対してご自分の愛を明らかにしておられます。」(ローマ人への手紙5章8節)十字架に現されたこの神様の愛を、あなたもお受け取りになりませんか。



シラネアオイ ^{ヤマフユ} — 山芙蓉とも言われる —

シラネアオイは 山の深い谷から 雪が消えて
新緑が萌え出すころ 高山地帯の半陰地に生えてくる花である

この花は 太い地下茎がある多年草で 背の高さは 30cmほどだ
6〜7月ごろ 野草とはおもえない 大きな桃紫色の花を咲かせる
野に咲く花の中では 優美で 気品を感じさせる花である
別名「山野草の女王」と呼ばれている

シラネアオイは 日本原産 日本だけに自生する花である

和名は 日光の白根山にちなんでつけられ

分類学上は アオイと関係がないが 色や形などが アオイに似ているので
シラネアオイと名付けられたという

日本の被子植物の中で唯一の 一科一属一種で

植物学上 世界的話題となっているという

近年の環境変化で群生地が減少し 貴重な山野草となっている

おとめイスラエルよ 再び わたしはあなたを固く建てる
再び あなたは太鼓をかかえ 楽を奏する人々と共に踊り出る
再び あなたは サマリアの山々にぶどうの木を植える
植えた人が 植えたその実の初物を味わう

エレミヤ31章（聖書）